

# 多高通信

第206号 令和4年12月26日発行



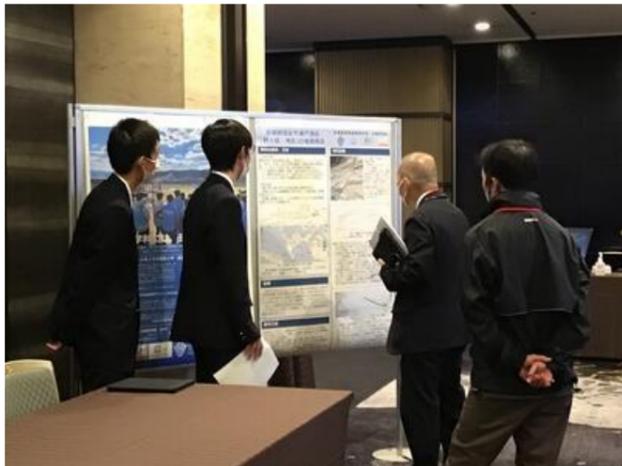
さどく ゆたかに たくましく  
宮城県多賀城高等学校

## 土サミット〜災害と土〜

### TOKYO 2022

10月21日、ホテルニューオータニ東京で開催された「土サミット」に災害科学科1年生2名が参加しました。「土サミット」は、行政機関・建設業界・学会の関係者など多くの方が土の適切な利用促進について情報を発信・共有するもので、今年は「災害と土」をテーマとして行われました。その参加者の方々に対して災害科学科の活動や研究内容を紹介し、様々な角度からいただく質問に対して自分の言葉で丁寧な説明をしながら、

各業界の方や東京の高校生との交流を行いました。また、「災害と土」に関する講演や研究発表を聞くことで知見を広げることができ、非常に貴重な経験となりました。



#### 【生徒感想】

■災害科学科1年 高内 天斗(鶴谷中出身)  
今回の土サミットを通して学んだことは、他人の話をよく聞き、理解しようとする姿勢がとても大切であるということです。実際、自分たちの発表を聞いてくれた人たちは、きちんと僕たちの説明を聞き、自分で理解し、そ

の上で質問をしてくれたのでとても発表しやすかったです。僕たちが発表を聞く際も、僕たちが分かりやすいように発表してくれたため、とても良い経験になりました。

■災害科学科1年 山本 陸(高崎中出身)  
私たちの発表を聞きに他の高校が来るなど、発表だけでなく、他校や企業の方などと交流することができ、とても良い経験になりました。今後の改善点は、声のメリハリをつけ、大事なことを強調することです。災害科学科での活動や浦戸巡検で学んだことをより多くの人に伝えることができて良かったです。

#### 1学年

### 課題研究特別講義実施

10月28日に宮城県教育委員会の「外部講師活用事業(特色ある学校づくり)」の一環として、京都産業大学生命科学部産業生命科学科の佐藤賢一先生をお招きし「自らの質問を作り出す手法を学ぶ」をテーマに、課題研究特別講義を実施しました。

今後、グループで課題研究を実施していくにあたり、研究分野の問いづくりを行います。今回の講話の手法を用いて、自分たちで問いを洗いだし、その問いを解き明かす学びへと深化させることが期待できそうです。

#### 【生徒感想】

問いの生成か

ら問いの分類、変換など、考えたこともない問いに対するアプローチを知ることができてとても面白いかった。また、私は問いに対して完璧であろうと思ってしまい、行き詰まってしまうと、「もうわからない」と思ってしまうのですが、先生のお話からそれでもいいんだということを知ることができてとても心が軽くなりました。学習を深めるのにも今日学んだことを活かして行きたいと思えます。グループワークなど友人と意見交換もして楽しく学ぶことができました。



#### 科学部

### 日本分子生物学会参加

12月2日(金)に日本分子生物学会主催で幕張メッセ展示会場を会場に行われた「第45回日本分子生物学会年会・高校生研究発表」が行われ、『マクラギヤステの生息調査 Part 2』生息の北限と未知なる生息を探る』の発表題で、科学部ヤステ班3名が参加しました。日頃取り組んできた研究成果を発表し、参加者との対話を通じて相互交流を行うことで、発信力やコミュニケーション力を向上させることができました。

■普通科2年 赤間 結衣(塩竈市立玉川中出身)

口頭発表では、3分間という短い時間での発表でしたが、これまでの研究成果をしっかりと伝えられたと思います。続くポスター発表では、口頭発表では伝えきれなかった部分の説明や、質疑応答を行いました。今回参加した3人がそれぞれ発表し、質問に答えることができたのでとても良かったです。また、他の発表を聞きに行き、どのような研究を行っているのか沢山調べました。会場にいたのは半日という短い時間ではありましたが、私にとっても非常に貴重な経験になりました。



#### 2学年

### 修学旅行に行ってきました!

■修学旅行実行委員長

2年5組 佐藤 希美(増田中出身)

今年度は3泊4日で関西方面へ行きました。普段の学校生活では体験できないようなことをたくさん経験でき、4日間の中で勉強になることが多くありました。

1日目は金閣寺と清水寺、2日目は班別研修、3・4日目はクラス別研修という行程でした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により制限されることも多かった修学旅行でしたが、大きな事故もなく2年生全員がとても充実感を持って旅行となりました。

また、コロナ禍の中で修学旅行を計画してくださった2年生の先生方を始め、保護者の方々、私達の修学旅行に携わって頂いた多くの方々に感謝したいと思います。3年生に向けて残り少ない2年生での生活も感染症に気をつけながら楽しんでいきたいと思えます。



#### バドミントン部

### 新人戦県大会奮起!

■2年4組 大友 柊和(東仙台台中出身)

11月に行われました県新人大会で、私達、男子バドミントン部は、先輩達と達成したベスト8を超えるべくベスト4を目標に練習に励んできました。本番では、緊張がありながらも自分達の持ち味を発揮することができました。しかし、惜しくも聖和学園に敗れ、ベスト16という結果で終わってしまいました。課題は多く見つけられ、ベスト4の高校と勝負し対等に渡り合えたことは、良い経験になったと思います。私達2年生も最後の大会まで残すところ半年となりました。後悔なく終わることができるように、これからの練習に取り組みしていきたいと考えています。

